

連休明け…物流、工事が活発に！ 交通事故・労災事故の危険性が高まります

トラックに積載のバックホー 高さ制限(4.3m)ゲートに衝突

2016年5月10日(火)7時30分

9日午前9時ごろ、山形県でトラックに載せていたバックホーが、JRの架道橋付近に設置されている高さ制限ゲートに衝突した。現場が約4時間半にわたって片側交互通行となったほか、点検のため下り普通列車1本が1時間10分遅れた。警察とJRによると、トラックが架道橋を通過する際、バックホーのアーム部分が防護工と呼ばれる高さ制限ゲートにぶつかった。トラックはそのまま架道橋を通り抜け、ガードレールに衝突して停止した。架道橋と防護工はともに高さ約4.3メートル。防護工にぶつかった衝撃でアームが下がり架道橋には衝突しなかった。

事故を起こしてから、後悔してどうする？

「なれた道・なれた仕事」に注意！

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バックは…『カメが歩くスピードの気持ちで！』

車間距離を十分にとろう！ 追突を未然に防止しよう

2時間ごとに、15分休憩で 守ろう！ 自分の命

- 一時停止 ⇒ 二度停止
- 前車発進 ⇒ 2秒後に発進

子供は、動く赤信号！

1.3トンのコンクリ柱が…足場に落下 作業員転落、2人死傷

- ◇ユニック作業時は、ワイヤー、フックの安全確認◇
- ◇鉄板吊りの作業中は、周囲の安全と逃げ場の確保◇

2016年5月10日(火)7時55分

9日午後2時ごろ、東京都の水門の耐震補強工事現場で、クレーンでつり上げられた約1.3トンのコンクリート柱が足場に落下し、作業中の男性2人が死傷した。警察によると、搬送先の病院で死亡が確認されたのは作業員の男性(33)。別の男性作業員(17)も軽傷を負った。同署は業務上過失致死傷の疑いもあるとみて、詳しい事故の状況を調べる。同署などによると、当時は水門の柱を切断し、クレーンでつり上げて移動する作業中だったが、突然、柱が落下。巻き込まれた男性は十数メートル下に転落したとみられる。現場では計6人が作業にあっていた。

巨大コンテナ崩れ、大型トラックが下敷き

2016年5月9日(月)18時47分

9日午後2時半ごろ、川崎港でコンテナが大型トラックの上に崩れ落ち、運転手の男性が閉じ込められました。運転手は2時間後に救助され、命に別条はありません。警察によりますと、作業員がクレーンでコンテナをつり上げたところ、積んであったコンテナにぶつかり、2つが崩れたということです。現場は、船で運ばれてきた貨物を一時保管する集積場です。

解体中のビルから転落 作業中の68歳男性が死亡

◇作業中、荷台からの転落に注意(足元の確認)◇

2016年5月9日(月)18時23分

9日午前10時ごろ、大阪市の工事現場で、解体中の6階建てビルの4階部分で作業をしていた建設作業員の男性(68)が転落。男性は全身を強く打ち、病院に搬送されたが約1時間後に死亡が確認された。警察によると、男性は事故当時、ビル4階で鉄製の床板を6メートル四方に切断する作業をしていたという。命綱は付けていなかったとみられ、詳しい事故原因を調べている。

交差点から外れた場所…自転車で横断の高齢男性、はねられ死亡

◇近くに…横断歩道、信号機が設置された交差点があったが…◇

◇交差点から外れた場所で横断を開始し…はねられた◇

◆双方の安全確認に怠り◆

2016.5.10

2日午前7時20分、秋田県で自転車に乗って道路を横断していた69歳の男性に対し、交差進行してきた乗用車が衝突する事故が起きた。男性は死亡。警察はクルマの運転者から事情を聞いている。近くには横断歩道や信号機の設置された交差点もあったが、69歳の男性が乗った自転車は交差点から外れた場所で横断を開始。直後に交差進行してきた乗用車にはねられた。警察では双方の安全確認に怠りがあったものとみている。